

大正十七年七月二十四日  
造船船工労働組合

資本主義の発展により、労働者は機械化された生産に従事することとなり、生産の集中化と大規模化が進んだ。この結果、労働者は雇用主の支配下に陥り、その権利を保護するために労働組合の組織が必要となった。労働組合は、労働者の利益を代表し、雇用主との交渉を通じて労働条件の改善を求め、労働者の生活を向上させることを目的とする。

労働者は、労働組合を通じて、賃金、労働時間、労働環境、労働安全などに関する権利を主張することができる。労働組合は、労働者の代表者として、雇用主との交渉を行い、労働者の利益を守る役割を果たす。

宣言

大正十七年七月二十四日  
造船船工労働組合

我々労働者は、資本主義の発展により、労働者は機械化された生産に従事することとなり、生産の集中化と大規模化が進んだ。この結果、労働者は雇用主の支配下に陥り、その権利を保護するために労働組合の組織が必要となった。労働組合は、労働者の利益を代表し、雇用主との交渉を通じて労働条件の改善を求め、労働者の生活を向上させることを目的とする。

労働者は、労働組合を通じて、賃金、労働時間、労働環境、労働安全などに関する権利を主張することができる。労働組合は、労働者の代表者として、雇用主との交渉を行い、労働者の利益を守る役割を果たす。

綱領

- 一、労働者の生活向上に努むることを第一とする
- 一、労働者の権利を保護し、労働条件の改善を要求する
- 一、労働者の生活を向上させるために、労働組合の組織を維持し、発展させる
- 一、労働者の生活を向上させるために、労働組合の組織を維持し、発展させる

造船船工労働組合